

近畿中国局フォレスターNEWS

民有林支援は重要な分野である（第1回民国連携推進会議）

6月11日～12日、近畿中国森林管理局（大阪市内）において、署等の民国連携担当者を集めた第1回民国連携推進会議を開催しました。

会議では、更なる民国連携を推進するため、民有林行政に係る情報の共有を図るとともに、各署等で取り組む支援メニューの報告や、各署等の課題解決に向けたグループ討議が行われました。

最初に、優良事例として、三重森林管理署から「悟入谷・古野裏山地域森林共同施業団地」における活動報告を受けました。その後、林野庁経営企画課の櫻井企画官から「地域の森林の集積・集約化の貢献について」での国有林としての役割について説明がありました。

グループ討議では、「地域の森林の集積・集約化の貢献については、国有林面積が小さい中で、森林共同施業団地が可能な区域が限定されている。また、森林・林業技術の普及については、現地検討会や出前出張を実施しているが、地域からの具体的な要望が少ない」との課題が報告され、対策として、「市町村のニーズを把握をしなければ進まない。国有林が持っている技術と市町村が持っている技術レベルを考えながら支援メニューを検討する必要がある。市町村と気軽に話せる関係を構築しなければならない」などの意見が出されたところです。

課題は山積していますが、最後に武田次長から「全体を通して地域のニーズの把握と団地のメリットをどう相手に伝えるのかである。そこを把握しなければ先には進めない。民有林支援は重要な分野である。引き続き、最前線での取組をお願いしたい」との講評を受けて終了しました。



全体会議の様子



グループ討議

苗木のドローン運搬に関する研修会（福井森林管理署）

福井森林管理署は6月16日（火）、福井県あわら市において、福井県との共催による「ドローンを使った苗木運搬の研修会」を開催し、県の出先機関及び市町の担当者、森林組合、研究機関等から55名が参加しました。

研修会会場では、坂井森林組合によるドローンを使った苗木運搬や、地元企業である石森電通システム（株）による大型ドローン（最大積載量80kg）を使った薬剤散布等の実演が行われ、参加者からは「新しい情報を得ることができた」「有意義な研修だった」とのコメントをいただいたところです。

引き続き、当署では、福井県と協力しながら民国連携研修会を実施していきたいと考えます。



小型ドローンによる苗木運搬



大型ドローン（DJI FLYCART100）

森林総合監理士の登録・公開制度の見直し

林野庁では、昨年10月の「森林総合監理士の在り方に関する検討会」での議論を踏まえ、平成26年4月1日付け25林整研第68号「森林総合監理士登録・公開の運用について」（林野庁長官通知）を改正しました。

具体的には、現在の森林総合監理士の登録・公開制度では、森林総合監理士としての活動実績や自己研鑽している者を網羅的に把握できず、利用者に資する名簿となっていないことから、日々活動している森林総合監理士がクルーズアップされるよう、「活動実績報告書」を「自己研鑽の取組及び活動実績報告書」に様式を変更し、直近（過去3年間）に取り組んだ自己研鑽の内容と活動実績を記載するとともに、これまでの林野庁の定期的な情報更新のほか、森林総合監理士自ら登録情報の更新を届け出る仕組みが追加されています。

新しい制度に基づく「森林総合監理士の登録・公開・変更に係る届出書」及び「自己研鑽の取組及び活動実績報告書」の変更手続きは9月から始まります。この改正を受けて、森林総合監理士資格の多様な活動の後押しになることを期待しているところです。

林野庁
近畿中国森林管理局
技術普及課



国民の森林・国有林

TEL : 06-6881-3524
Email: kc_fukyu@maff.go.jp
URL : <http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>
〒530-0042 大阪市北区天満橋1丁目8-75

編集後記

厚生労働省は、5月から9月まで「STOP! 熱中症クールワークキャンペーン」を実施している。WBGT値の数値に応じた対策を事業者に求めている。昨年の熱中症による死亡を含む休業4日以上死傷者数は1,681人、うち死亡者数は15人と前年比で死亡者数は減少したが、死傷者数は1.4倍に膨らんだ。死傷者ゼロに向け、キャンペーンでの対策に期待したい。